

社会技術研究開発事業
令和4年度研究開発実施報告書

SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
ソリューション創出フェーズ
「地域の医療・保健・福祉・教育・市民等が連携して
自殺ハイリスクの子どもを守る社会システムの
ソリューション創出」

研究代表者 立花良之
(国立成育医療研究センター)

協働実施者 河西千秋
(札幌医科大学医学部神経精神医学講座
主任教授)

目次

1. 研究開発プロジェクト名.....	2
2. 研究開発実施の具体的内容.....	2
2 - 1. 目標.....	2
2 - 2. 実施内容・結果.....	3
2 - 3. 会議等の活動.....	7
3. 研究開発成果の活用・展開に向けた状況.....	9
4. 研究開発実施体制.....	9
5. 研究開発実施者.....	10
6. 研究開発成果の発表・発信状況、アウトリーチ活動など.....	12
6 - 1. シンポジウム等.....	12
6 - 2. 社会に向けた情報発信状況、アウトリーチ活動など.....	12
6 - 3. 論文発表.....	13
6 - 4. 口頭発表（国際学会発表及び主要な国内学会発表）.....	13
6 - 5. 新聞報道・投稿、受賞等.....	13
6 - 6. 知財出願.....	14

1. 研究開発プロジェクト名

地域の医療・保健・福祉・教育・市民等が連携して自殺ハイリスクの子どもを守る社会システムのソリューション創出

2. 研究開発実施の具体的内容

2-1. 目標

(1) 目指すべき姿

地域自治体が、地域自殺対策計画の中で活用できる、地域子どもの自殺総合対策パッケージを開発する。このパッケージを使って、地域自治体が、地域の医療・保健所・福祉（児童相談所・子ども家庭支援センター）・教育・NPOと協働して、自殺ハイリスクの子どもやその家族に対し、多機関・多職種で連携して支援し、子どもの自殺を防止する社会の実現を行う。どの地域でも、自地域の自殺対策計画の中で活用できるようなパッケージを提供することにより、日本中の自治体で本パッケージを活用してもらい、医療・保健・福祉・教育・NPOが連携した子どもの自殺対策を推進することを目指す。

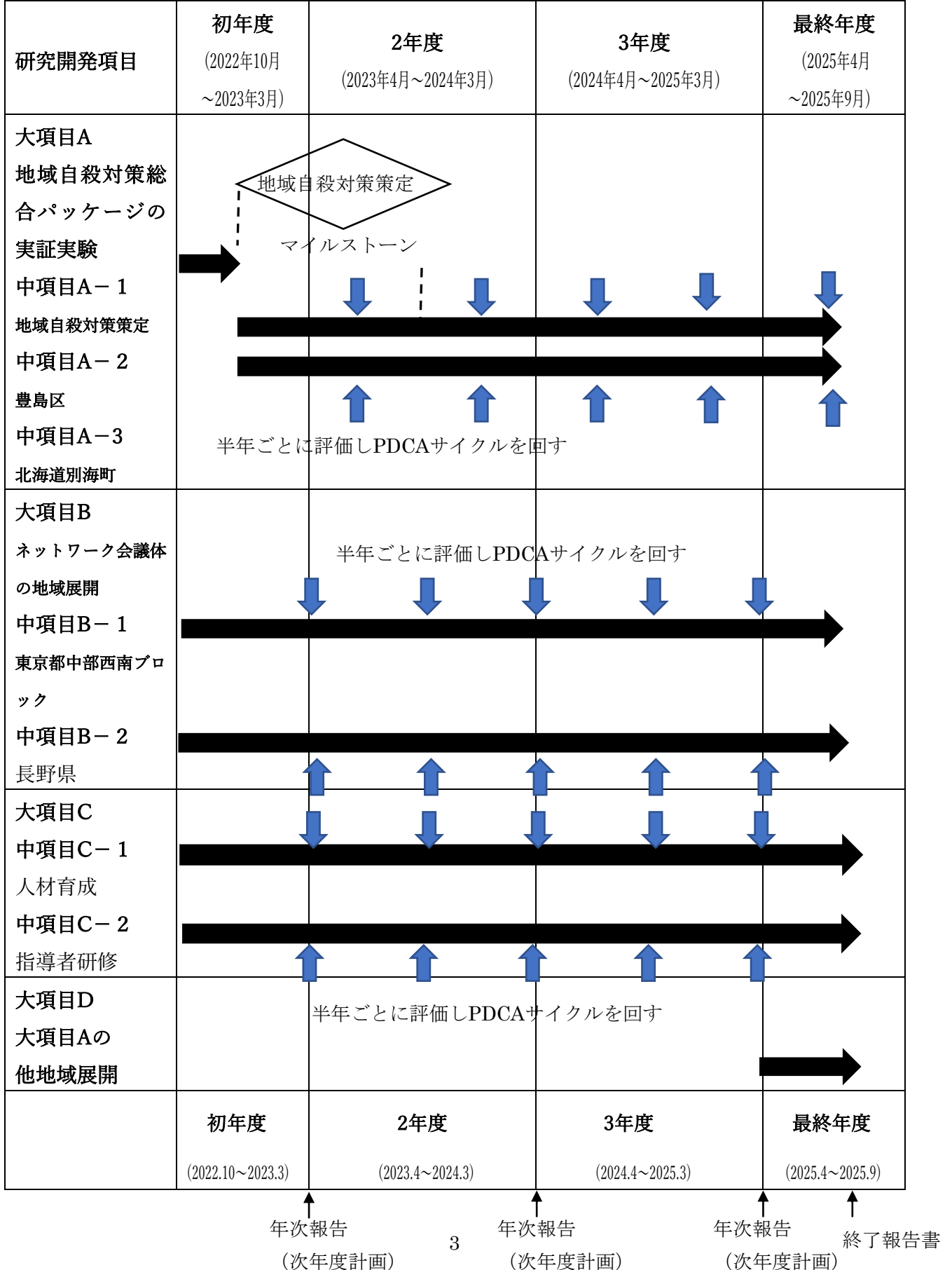
(2) 研究開発プロジェクト全体の目標

- 1) 市区町村の精神保健担当者が地域自殺対策計画に取り入れやすいような、子どもの自殺対策総合パッケージを作成し、実際に自治体でそのパッケージを運用した実証実験を行い、有効性を確認する。そして、期間中に他地域に配布できるようなパッケージを仕上げる。
- 2) 医療・保健・福祉・教育・NPOなど多職種が連携して子どもや家族をサポートするような地域システムを可能にする多職種の「顔の見える連携」づくりのための地域ネットワーク会議体の実証実験を行い、有効性を実証する。
- 3) 人材育成として、研修会パッケージを作成し効果検証を行い、有効性を実証する。また、伝達研修の形での均てん化を行う

2 - 2. 実施内容・結果

() スケジュール

研究開発期間中 (42ヶ月) のスケジュール



(2) 各実施内容

大項目A. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策総合パッケージの実証実験 (地域自殺対策総合パッケージグループ)

自治体関係者とともに、子どもの自殺防止対策の地域自殺対策を策定し、その効果検証を行う。

【今年度の到達点】パッケージを作成、その後の実証実験につなげられるようにする。

【対象】地域の行政・医療・保健・福祉・NPOの関係者

【実施内容】学校におけるメンタルヘルスクリーニングパッケージを作成した。

関係者と協議し、学校で対応している心理的危機状態にある子どもを医療・保健・福祉と連携してサポートするための対応のフローチャートを作成した。

大項目B. 子どもの自殺対策のための地域ネットワーク会議体の地域展開の実証実験 (地域ネットワーク会議グループ)

中項目B-1. 東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）での実証実験

中項目B-2. 長野県での実証実験

地域の定期的な会議体をベースとした多職種による地域の「顔の見える連携」連携のネットワークづくりの実証実験を行う。

【対象】東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）、長野県の行政・医療・保健・福祉・NPOの関係者

【今年度の到達点】シナリオ創出フェーズで既にネットワーク会議体を作成しており、その会議体を継続実施する。KPIである「相談しやすさ」や「特に相談したい相手との接点が増えた」が向上するような会議体運営を目指す。また、各会に把握された課題についてPDCAサイクルを回していく。

【実施内容】東京都中部西南ブロック・長野県ともに月1回の関係者会議を開催した。「顔の見える連携」を構築するとともに、東京都中部西南ブロックでは、広く関係者に自殺予防対策の基礎的な知識を共有するための教材づくりを進めた。

大項目C. 人材育成の研修会（スクールカウンセラーなど学校関係者、医療者、保健・福祉関係者、NPO関係者など）

(人材育成グループ)

地域の指導者（中間管理職的、実務を担う立場）の人にスキルを身に付けてもらい、それを地域に持ち帰って同僚に伝達してもらうことで研修内容を広めていく。そのための効果検証を行う。

【対象】教育関係者（スクールカウンセラー、養護教諭・担任・副校長等）、福祉関係者（児童相談所、子ども家庭支援センター職員）、医療関係者（小児科医、精神科医、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなど）、NPO関係者
【今年度の到達点】東京都中部西南ブロックのスクールカウンセラーなど学校関係者、医療社、保健・福祉関係者、NPO関係者むけに研修会を開催する。
【実施内容】スクールカウンセラー・児童福祉関係者向けのプログラムを作成し、研修会を開催した。

（3）成果

大項目A. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策総合パッケージの実証実験 （地域自殺対策総合パッケージグループ）

自治体関係者とともに、子どもの自殺防止対策の地域自殺対策を策定し、その効果検証を行う。

【今年度の到達点】パッケージを作成、その後の実証実験につなげられるようにする。

【成果】「子どもの自殺予防対策研修 基礎編」のプログラムについて、児童福祉領域・スクールソーシャルワーカー領域が完成した。

大項目B. 子どもの自殺対策のための地域ネットワーク会議体の地域展開の実証実験 （地域ネットワーク会議グループ）

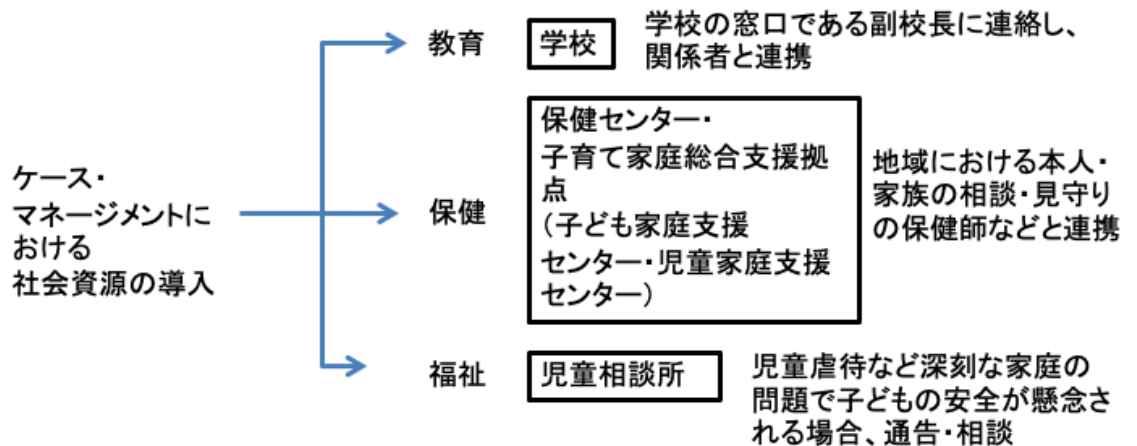
中項目B-1. 東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）での実証実験

中項目B-2. 長野県での実証実験

【今年度の到達点】シナリオ創出フェーズで既にネットワーク会議体を作成しており、その会議体を継続実施する。KPIである「相談しやすさ」や「特に相談したい相手との接点が増えた」が向上するような会議体運営を目指す。また、各会に把握された課題についてPDCAサイクルを回していく。

【成果】メンタルヘルススクリーニングについて、うつ・統合失調症・自閉スペクトラム症についての質問票からなるパッケージを作成し、電子化して学校のインターネット端末で生徒が回答し学校側が生徒の精神状態を評価できるようなシステムを構築した。

関係者と協議し、学校で対応している心理的危機状態にある子どもを医療・保健・福祉と連携してサポートするための下記のような対応のフローチャートを作成した。このフローチャートは、多職種連携を円滑に行うための関係者の共通認識として関係者の人材育成プログラムの中に入れる予定である。



また、医療への連携についてソーシャルワークや見立ての助言を行う医療相談支援センター事業（こころSOS）の構想を立案した。その事業構想の社会実装のため、厚生労働省「孤独・孤立対策のための自殺防止対策事業」公募に応募した。

大項目C. 人材育成の研修会（スクールカウンセラーなど学校関係者、医療者、保健・福祉関係者、NPO関係者など）

（人材育成グループ）

【今年度の到達点】東京都中部西南ブロックのスクールカウンセラーなど学校関係者、医療者、保健・福祉関係者、NPO関係者むけに研修会を開催する。

【成果】2022年11月13日に東京都内のスクールカウンセラー向けに研修会を開催し、38人のスクールカウンセラーが参加した。

2022年12月15日に目黒区の保健・児童福祉関係者（子ども家庭支援センター・児童相談所・保健所）の関係者向けに研修会を開催し、62人が参加した。研修会参加者を対象に、子どもの自殺予防研究会を立ち上げ、子どもの自殺防止対策のための情報共有、ネットワーク構築を図った。2ヶ月に一度開催することとし、第1回を2023年1月25日、第2回を2023年3月13日に開催した。

（4）当該年度の成果の総括・次年度に向けた課題

プロジェクトの目標達成について、計画通りに進捗している。

研修の均てん化のために、動画などを用いた基礎編研修が有効と考えられ、基礎編研修プログラム作成を進めた。

学校が自殺ハイリスクの子どもへの対応において、緊急性の判断や受診先を探すことに苦慮していることが明らかとなり、そのような医療相談支援センターのモデル事業に取り組むこととした。

2 - 3. 会議等の活動

年月日	名称	場所	概要
2022/10/7	東京都中部西南ブロック関係者会議	オンライン	東京都中部西南ブロック（世田谷区・渋谷区・目黒区）の医療・保健・福祉・教育の関係者と、地域における子どもの自殺防止対策の会議を行った。
2022/10/13	長野県子どもが真ん中円卓会議	オンライン	長野県の関係者と子どもの自殺防止に関する事例検討を行った。
2022/10/25	東京都精神科診療所協会ミーティング	オンライン	東京都精神科診療所協会関係者（羽藤理事、芦刈会長）、メンタルケア協議会西村理事、東京医科歯科大学精神科竹内准教授などと地域自殺対策についての意見交換を行った。
2022/11/4	東京都中部西南ブロック関係者会議	オンライン	東京都中部西南ブロック（世田谷区・渋谷区・目黒区）の医療・保健・福祉・教育の関係者と、地域における子どもの自殺防止対策の会議を行った。
2022/11/8	長野県子どもが真ん中円卓会議	オンライン	長野県の関係者と子どもの自殺防止に関する事例検討を行った。
2022/11/13	子どもの自殺防止対策研修会（スクールカウンセラー対象）	東京ウィメンズプラザ（東京 青山）	スクールカウンセラーを対象に、子どもの自殺防止対策の研修会を行った。
2022/11/17	目黒区スクールソーシャルワーカー子どもの自殺防止対策会議	目黒学校サポートセンター	目黒区のスクールソーシャルワーカーと、目黒区の教育現場における子どもの自殺防止対策について協議を行った。
2022/12/2	東京都中部西南ブロック関係者会議	オンライン	東京都中部西南ブロック（世田谷区・渋谷区・目黒区）の医療・保健・福祉・教育の関係者と、地域における子どもの自殺防止対策の会議を行った。
2022/12/5	長野県子どもが真ん中円卓会議	オンライン	長野県の関係者と子どもの自殺防止に関する事例検討を行った。
2022/12/8	キックオフミーティング	オンライン	総括・総括補佐・アドバイザー・RISTEX担当官から、研究実施について助言をいただいた。

2022/12/15	目黒区子どもの自殺防止対策研修会	目黒区保健所	目黒区の子ども家庭支援センター・児童相談所・保健所スタッフを対象に、子どもの自殺防止対策の研修会を行った。
2023/1/6	東京都中部西南ブロック関係者会議	オンライン	東京都中部西南ブロック（世田谷区・渋谷区・目黒区）の医療・保健・福祉・教育の関係者と、地域における子どもの自殺防止対策の会議を行った。
2023/1/16	長野県子どもが真ん中円卓会議	オンライン	長野県の関係者と子どもの自殺防止に関する事例検討を行った。
2023/1/25	戦略会議	オンライン・オンサイト	総括・総括補佐・アドバイザー・RISTEX担当官から、研究実施について助言をいただいた。
2023/1/25	第1回子どもの自殺予防研究会	東京ウィメンズプラザ（東京 青山）・オンライン	子どもの自殺防止対策のために、子どもに関わる関係者のネットワークづくり及び情報共有の場として研究会を開催した。
2023/2/1	札幌精神医学セミナー	札幌・オンライン	立花が地域における自殺防止対策についての講演を行った。
2023/2/3	東京都中部西南ブロック関係者会議	オンライン	東京都中部西南ブロック（世田谷区・渋谷区・目黒区）の医療・保健・福祉・教育の関係者と、地域における子どもの自殺防止対策の会議を行った。
2023/2/6	長野県子どもが真ん中円卓会議	オンライン	長野県の関係者と子どもの自殺防止に関する事例検討を行った。
2023/2/10	子どもの自殺防止対策についての意見交換会	渋谷区教育委員会	渋谷区教育委員会関係者と渋谷区における子どもの自殺防止対策についての意見交換を行った。
2023/3/3	東京都中部西南ブロック関係者会議	オンライン	東京都中部西南ブロック（世田谷区・渋谷区・目黒区）の医療・保健・福祉・教育の関係者と、地域における子どもの自殺防止対策の会議を行った。
2023/3/6	長野県子どもが真ん中円卓会議	オンライン	長野県の関係者と子どもの自殺防止に関する事例検討を行った。
2023/3/10	子どもの自殺防止対策についての意見交換会	渋谷区保健所	渋谷区保健所関係者と渋谷区における子どもの自殺防止対策についての意見交換を行った。

3. 研究開発成果の活用・展開に向けた状況

子どもの自殺防止対策のための人材区政プログラムを作成し、スクールカウンセラー・児童福祉関係者向けに研修会を実施した。

子どもの自殺防止対策のための関係者の「顔の見える連携」づくりのために定例会議を東京都中部西南ブロックの関係者を対象に月1度の頻度で開催し、そこから均てん化のためにセットアップパッケージを作成した。

子どもの自殺防止対策のための事例検討会パッケージを作成し、長野県の関係者を対象に月1度の頻度で定例開催した。

4. 研究開発実施体制

(1) 地域自殺対策総合パッケージグループ

グループリーダー：立花良之（国立成育医療研究センター）

役割：地域自殺対策総合パッケージを作成する。

概要：医療・保健・福祉・教育関係者と協議を重ね、子どもの自殺防止対策についての地域でも使えるようなユニバーサルデザインの地域自殺対策総合パッケージを作成する。

(2) 地域ネットワーク会議グループ

グループリーダー：立花良之（国立成育医療研究センター）

役割：子どもの自殺防止対策のため、地域の医療・保健・福祉・教育・市民などのネットワークの会議体パッケージを作成し、運用する。

概要：子どもの自殺防止対策のため、地域の医療・保健・福祉・教育・市民などのネットワークの会議体パッケージを作成し、東京都中部西南ブロックと長野県で運用し、その有効性を検証する。

(3) 人材育成グループ

グループリーダー：河西千秋（札幌医科大学神経精神医学講座 主任教授）

役割：子どもの自殺防止対策のための人材育成プログラム作成と研修会実施・均てん化を行う。

概要：スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、児童福祉関係者向けなどに子どもの自殺防止対策の研修会プログラムを作成し、研修会を実施し、また、さらなる均てん化のために、動画教材などを用いた基礎編研修を企画する。

5. 研究開発実施者

地域自殺対策総合パッケージグループ

氏名	フリガナ	所属機関	所属部署	役職 (身分)
立花良之	タチバナヨシユキ	国立成育医療 研究センター		病院付
河西千秋	カワニシチアキ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	主任教授
高井美和	タカイミワ	国立成育医療 研究センター	こころの診療 部乳幼児メン タルヘルス診 療科	心理療法士
津山雄亮	ツヤマユウスケ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	心理療法士
菅原夏海	スガワラナツミ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	心理療法士

地域ネットワーク会議グループ

氏名	フリガナ	所属機関	所属部署	役職 (身分)
立花良之	タチバナヨシユキ	国立成育医療 研究センター		病院付
河西千秋	カワニシチアキ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	主任教授
高井美和	タカイミワ	国立成育医療 研究センター	こころの診療 部乳幼児メン タルヘルス診 療科	心理療法士
津山雄亮	ツヤマユウスケ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	心理療法士
菅原夏海	スガワラナツミ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	心理療法士

人材育成グループ

氏名	フリガナ	所属機関	所属部署	役職 (身分)
立花良之	タチバナヨシユキ	国立成育医療 研究センター		病院付
河西千秋	カワニシチアキ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	主任教授
高井美和	タカイミワ	国立成育医療 研究センター	こころの診療 部乳幼児メン タルヘルス診 療科	心理療法士
津山雄亮	ツヤマユウスケ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	心理療法士
菅原夏海	スガワラナツミ	札幌医科大学	神経精神医学 講座	心理療法士
平山美美	ヒラヤマフミ	国立成育医療 研究センター	こころの診療 部乳幼児メン タルヘルス診 療科	心理療法士
潮姿寿枝	ウシオシヅエ	国立成育医療 研究センター	こころの診療 部乳幼児メン タルヘルス診 療科	心理療法士
京増宏美	キョウマスヒロミ	国立成育医療 研究センター	こころの診療 部乳幼児メン タルヘルス診 療科	心理療法士

6. 研究開発成果の発表・発信状況、アウトリーチ活動など

6-1. シンポジウム等

年月日	名称	主催者	場所	参加人数	概要
2022/10/9	北海道精神神経学会	札幌医科大学 神経精神医学 講座	札幌	35人	立花が、シンポジウムで地域における自殺対策についての講演を行った。
2022/11/23	モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF)第3回児童虐待・子どもへの暴力防止フォーラム	NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド	オンライン	100人	立花が、シンポジウムで地域連携や社会実装などについて、長野県子どもが真ん中円卓会議などを例に公演を行った。

6-2. 社会に向けた情報発信状況、アウトリーチ活動など

(1) 書籍、フリーペーパー、DVD

該当なし

(2) ウェブメディアの開設・運営、

該当なし

(3) 学会(6-4.参照)以外のシンポジウム等への招聘講演実施等

北海道精神神経学会、「母子保健における多職種地域連携と精神医療」、2022年10月9日、札幌

スクールカウンセラーのための子どもの自殺予防研修会、「子どもの自殺問題と課題」
「児童・青年期の精神障害」、2022年11月13日、オンライン

MCF第3回児童虐待・子どもへの暴力防止フォーラム、「児童虐待予防のための仕組みづくりと多職種・多機関連携の促進について」、2022年11月23日、オンライン

目黒区子どもの自殺防止対策研修会、「子どもの自殺防止対策について ～基礎知識と多職種連携～」、2022年12月15日、目黒区保健所

6-3. 論文発表

(1) 査読付き (0 件)

●国内誌 (0 件)

●国際誌 (0 件)

.

(2) 査読なし (0 件)

6-4. 口頭発表 (国際学会発表及び主要な国内学会発表)

(1) 招待講演 (国内会議 1 件、国際会議 0 件)

・北海道精神神経学会、「母子保健における多職種地域連携と精神医療」、2022年10月9日、札幌

(2) 口頭発表 (国内会議 4 件、国際会議 0 件)

・北海道精神神経学会、「母子保健における多職種地域連携と精神医療」、2022年10月9日、札幌

・スクールカウンセラーのための子どもの自殺予防研修会、「子どもの自殺問題と課題」
「児童・青年期の精神障害」、2022年11月13日、オンライン

・MCF第3回児童虐待・子どもへの暴力防止フォーラム、「児童虐待予防のための仕組みづくりと多職種・多機関連携の促進について」、2022年11月23日、オンライン

・目黒区子どもの自殺防止対策研修会、「子どもの自殺防止対策について ～基礎知識と多職種連携～」、2022年12月15日、目黒区保健所

(3) ポスター発表 (国内会議 0 件、国際会議 0 件)

6-5. 新聞報道・投稿、受賞等

(1) 新聞報道・投稿 (0 件)

(2) 受賞 (0 件)

(3) その他 (0 件)

6-6. 知財出願

(1) 国内出願 (0 件)